

研修旅行の行程表

<1日目>

午前：南紀白浜まで
5時間の大移動
午後：とれとれ市場(昼食)
エネルギーランド
千畳敷

<2日目>

午前：ものづくり体験
黒竹民芸&蜜蝋リップクリーム
ハーバリウム&備長炭風鈴
梅干し&梅ジュース
午後：アドベンチャーワールド

<3日目>

午前・午後：USJ

生徒満足度80%以上！ 3年ぶりの南紀研修旅行

研修旅行について、二年生にアンケートを行った。旅行全体の満足度については、八十%以上の生徒が満足だったと答えた。思い出に残った場所を三つ答えてもらおうと、一位がユニバーサルスタジオジャパン(七十九票)、二位がアドベンチャーワールド(五十一票)、三位はホテル内(四十五票)であった。楽しかったエピソードは「千畳敷は風が強くておでこ全開の写真がおもしろかった」「ホテルの部屋で友達と騒いだことが楽しかった」「バスの中で映画やビンゴ大会をして盛り上がった」など素敵な思い出になるエピソードが集まった。

最初の目的地「とれとれ市場」では昼

十一月三十日、十二月一日、二日の三日間、二年生が三年ぶりとなる研修旅行へ行った。和歌山県の南紀白浜と大阪へ二泊三日の旅だ。コロナ禍の中で久しぶりの遠出となる生徒も多く、楽しく貴重な時間となった。



子ども達と走り回る生徒

十月二十六、二十七日、二十八日に若狭町内三つの保育所(みそみ・気山・中央)で生活情報科の一年生が保育実習を行った。生徒たちは、事前講義で学んだ、目の合わせ方、分かりやすく優しい話し方、ゆっくりと自然な読み聞かせ等、子どもと接する上で重要なことを意識しながら実習に励んだ。体験した生徒は「子どもから様々

一年生活情報科 たぐさん学べた 保育実習

な遊びの提案をされた。大変だったが楽しかった。「部活並に走ったと思う。みんなといると元気をもらえた」「普段小さい子と話す機会がないのでいい経験になった」と語った。

他にも昼寝や読み聞かせなど、様々な体験を行いそれぞれが充実した一日を過ごした。今回の体験を通して生徒たちは、小さい子どもの心情や行動、関わり方を知り良い勉強となった。

真つ直ぐ歩けない階段を味わった。その後、白い砂浜を眺めることができるエネルギーランドへ。平衡感覚が狂う傾いた階段を上るミステリーエリアや、通常ではありえない視覚を体験できる驚き映像エリアなどが人気だった。最後の目的地、千畳敷は長い時間をかけた海岸線が波に削られた不思議な崖である。高低差のある地形は、スリルある観光名所であった。

竹を食べるパンダ
生徒が最も楽しみにしていたユニバーサルスタジオジャパン



プに分かれてものづくり体験を行った。自分の作品は良い思い出の品になったことだろう。午後は陸・海・空の動物達がいるアドベンチャーワールドを満喫した。人気のパンダやイルカショーで愛らしい姿を見ることができた。遊園地もあり、観覧車やティーカップに乗って充実した時間を過ごした。



真つ直ぐ歩けない階段



ツリーの前でピース

ン。当日は気温が低かったが、天気に恵まれ悠々と廻ることができた。アトラクションに乗ったり、写真を撮るたくさん撮ったり、美味しいものを食べたり、お土産を買ったりと、最大限に楽しんだ。キャラクターのかぶり物をつけて楽しむ姿も多く見られた。二年学年主任の西先生は「安全に楽しく終わることができてよかった」と述べていた。

美方メンバーがアジア大会金メダルを牽引

世界で活躍するボート部 勝利の秘訣に迫る

十一月二十七日から行われていた、U19アジアジュニア選手権で美方勢(岸本・柴崎・岡本、岩本・武田、鴉田)を含む日本チームの三クルーが金メダルを獲得した。全国大会や世界大会で活躍するボート部の勝利の秘訣を探るためボート部の一日に密着した。



朝 朝練を取材に我々も始発で湖へ。え、もう練習が始まっているの!?



夕 ランニングで改めるとそのタフさに感心!!

日本一に導く指導法

清水先生は、負けないための指導を徹底している。心や体を鍛えるだけでなく、挨拶などの日常生活を大事にした土台作りが必要だという。また「一人一人が強くなるのがチームの強さに繋がる」と語っていた。

卒業後も挑戦を続ける三年生

現役三年生の柴崎峻佑さんは三年間、辛かったが「この日々は強くなるための日々だった」と今になって気づいたという。卒業後は、進学し花形種目のエイトで勝つことを目標にしている。上村柚子さんも毎日が辛かったが「優勝のために必死に努力したからこそ、優勝した瞬間が最高だった」と振り返った。卒業後は関西電力実業団でプレーする。八年契約の中で、一回でも世界に行くことを目標としている。

キャプテンに聴くチームづくり

男子キャプテン天渡羅偉さんは、普段から挨拶をしつかりすることや、常に周りを見てミスなどに対応できるように心がけている。大会前にはミーティングでレースプランをしつかり立てるそうだ。女子キャプテン岩本結愛さんは、毎日の練習を誰よりもしつかりすることをチームに呼びかけている。大会前も普段通りのことを行うことでチームに自信を持たせている。

美術部の集大成 十村の新シンボル誕生



蒸気機関車の完成

美術部が一学期から制作していた十村駅駐輪場の壁画が、十月五日に完成した。全長三十メートルの壁に、三十三間山をバックに走る八両編成のSLと、窓から顔を出す乗客を描いたほっこり優しい絵になった。

十村駅周辺に住む方は「絵のクオリティが高く、乗客の表情まで細かく描いてあって上手」と話していた。部員の呉服ひなたさんは「登下校時に電車からいつも見えている。景色に映えて景観がよくなった」と誇らしげだった。

この絵のこだわりポイントは、電車の車輪や窓の色塗りを丁寧に時間をかけたことと、乗客の中に、美術部三年生が考案したマスコットキャラクターみそみちゃんとナンシーがいることだ。華やかになった「十村駅」を是非見に行ってください。

編集後記

百五十九号を読んでいた皆さまありがとうございます。今年三年ぶりに研修旅行が開催されたり、多くの部活動が実績を上げたりと、昨年以上に明るい話題が多かったです。その分、取材の機会も増え、多くの方の協力を頂いて完成させることができました。ありがとうございます。来年もよろしくお祈りします。